

平成29年度 第2回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には、前回調査で一旦減少傾向となった受注量が、今回増加傾向に転じ、今後の受注見通しについても、「増加」及び「不変」とする回答の割合が増えており、堅調に推移。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 前回調査で一旦減少傾向となったが、今回増加傾向に転じ、「増加」「やや増加」の回答割合が、前々回まで3期連続での増加傾向を上回り、近年では最も高い状況。全7業種でDI値がプラスとなり、増加傾向となっている。
- (2)受注見通し : 「増加」とする回答の割合は減少したものの、「減少」とする回答の割合がそれを上回わり大きく減少している。大きく「増加」、大きく「減少」と見通す業種はなかった。
- (3)受注単価 : 若干の改善が見られるものの「不変」とする回答が増加している。鉄鋼・非鉄でのみ「上昇」の回答が増加、一般機器、精密機器で「低下」の回答が増加。
- (4)資金繰り : 「好転」及び「不変」の回答が増加している。輸送用機器、精密機器で「悪化」の回答が増加。
- (5)採算状況 : 全体的には、前回に引き続き、黒字企業（黒字+収支トントン）が増加した。
- (6)受注余力 : 「受注余力なし」が増加傾向で、直近では最も高い割合となった。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成29年7月～9月
(平成29年9月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

平成29年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

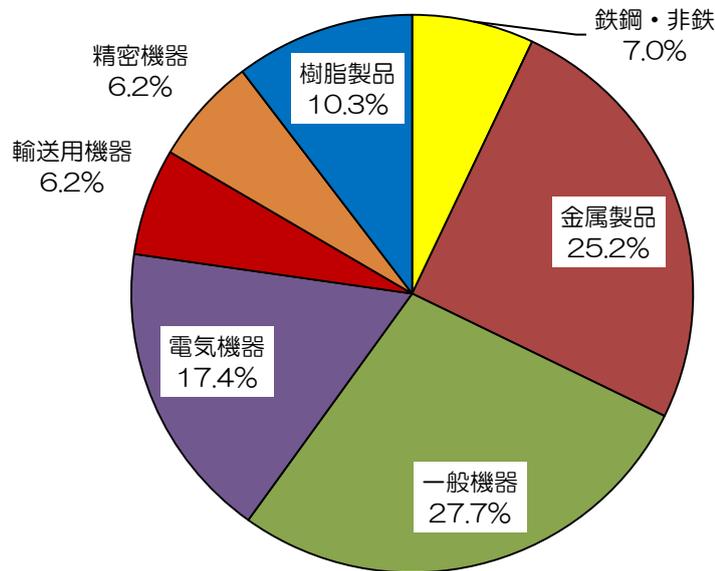
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	242社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	17社	(7.0%)	
金属製品関係	61社	(25.2%)	
一般機器関係	67社	(27.7%)	
電気機器関係	42社	(17.4%)	
輸送用機器関係	15社	(6.2%)	
精密機器関係	15社	(6.2%)	
樹脂製品関係	25社	(10.3%)	
④ 回答率	80.7%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	8 3.3%	1 5.9%	1 1.6%		3 7.1%			3 12.0%
~300万円	11 4.5%		3 4.9%	1 1.5%	2 4.8%	2 13.3%		3 12.0%
301~999万円	10 4.1%		3 4.9%	5 7.5%		1 6.7%		1 4.0%
1000~2000万円	140 57.9%	10 58.8%	41 67.2%	41 61.2%	24 57.1%	3 20.0%	10 66.7%	11 44.0%
2001~5000万円	56 23.1%	5 29.4%	12 19.7%	17 25.4%	11 26.2%	3 20.0%	3 20.0%	5 20.0%
5000万円超	17 7.0%	1 5.9%	1 1.6%	3 4.5%	2 4.8%	6 40.0%	2 13.3%	2 8.0%
合 計	242 100%	17 100%	61 100%	67 100%	42 100%	15 100%	15 100%	25 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

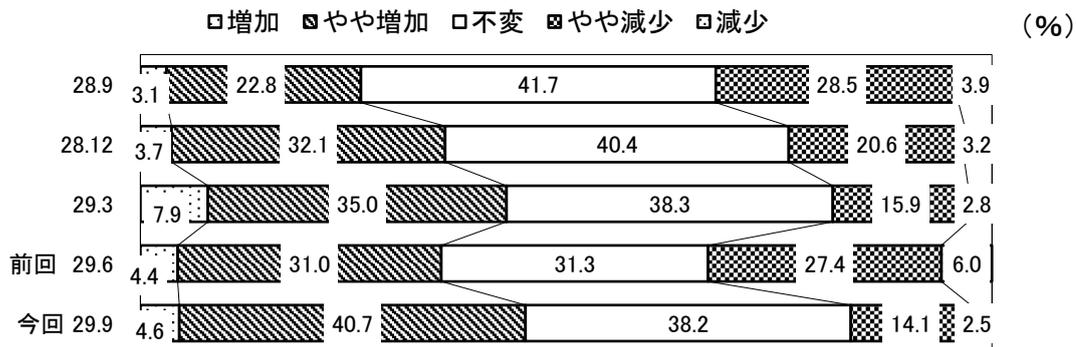
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 8.3%	5 29.4%	4 6.6%	5 7.5%	3 7.1%			3 12.0%
6~10人	25 10.3%	2 11.8%	4 6.6%	9 13.4%	3 7.1%	3 20.0%	2 13.3%	2 8.0%
11~20人	70 28.9%	2 11.8%	20 32.8%	26 38.8%	9 21.4%	1 6.7%	4 26.7%	8 32.0%
21~30人	38 15.7%	3 17.6%	14 23.0%	7 10.4%	7 16.7%	1 6.7%	2 13.3%	4 16.0%
31~50人	37 15.3%	3 17.6%	9 14.8%	9 13.4%	9 21.4%	2 13.3%	2 13.3%	3 12.0%
51人以上	52 21.5%	2 11.8%	10 16.4%	11 16.4%	11 26.2%	8 53.3%	5 33.3%	5 20.0%
合 計	242 100%	17 100%	61 100%	67 100%	42 100%	15 100%	15 100%	25 100%

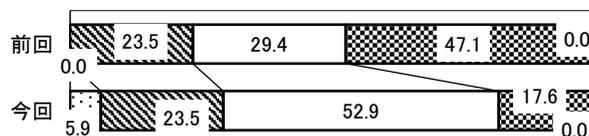
3. 調査結果

(1) 受注量について

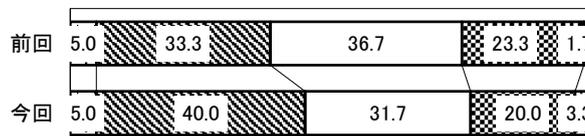
①全体



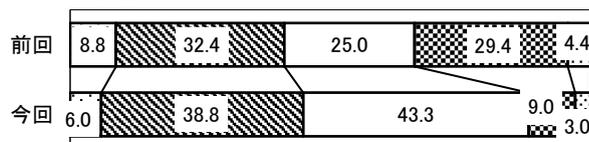
②鉄鋼・非鉄



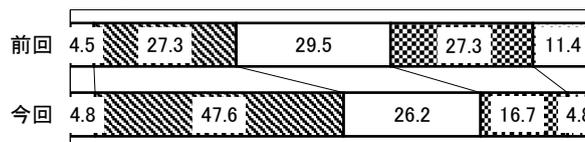
③金属製品



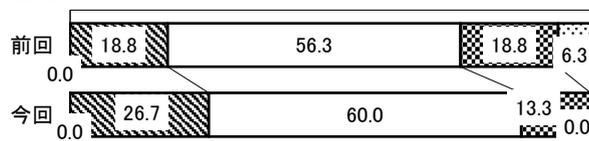
④一般機器



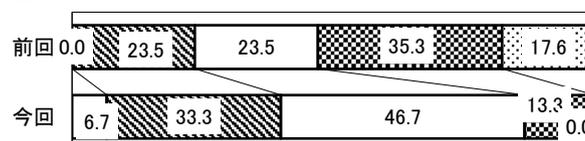
⑤電気機器



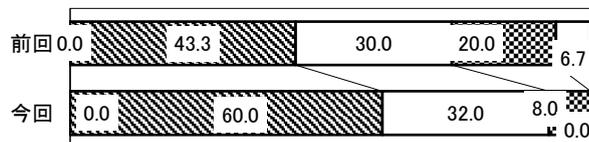
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



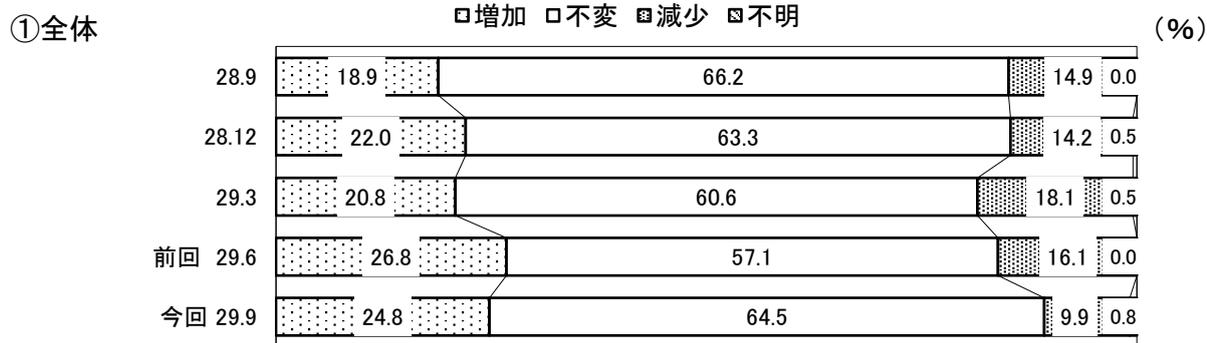
○全体

・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は28.7となり、前期（4月～6月期）のD I値2.0と比べ26.7ポイント増加、前回減少傾向となった受注量は、前々回も上回り、増加傾向となった。

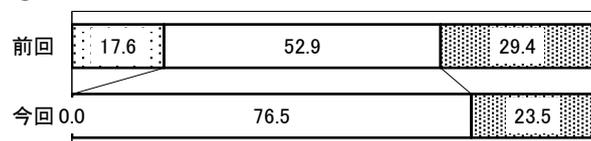
○業種別

- ・D I値は、全7業種でプラスとなった。樹脂製品（52.0）、一般機器（32.8）、電気機器（30.9）、精密機器（26.7）、金属製品（21.7）、輸送用機器（13.4）、鉄鋼・非鉄（11.8）で前回は引き続きプラス。
- ・前回マイナスであった電気機器、精密機器、輸送用機器、鉄鋼・非鉄の4業種もプラスに転じた。
- ・D I値を前期と比較すると、全7業種でプラス値となっている。（前回は全業種でマイナス値）
- ・特に、精密機器で前回▲29.4から26.7と56.1ポイントの増加、電気機器で前回▲6.9から30.9と37.8ポイントの増加、樹脂製品で16.6から52.0と35.4ポイントの増加、鉄鋼・非鉄で▲23.6から11.8と35.4ポイントの増加、と4業種で大きく増加している。

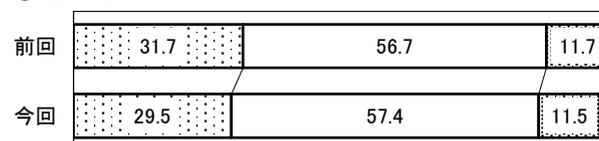
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



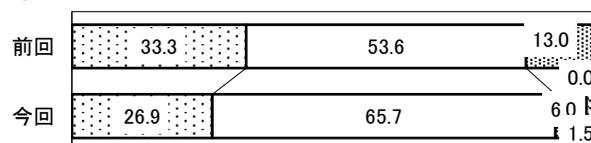
②鉄鋼・非鉄



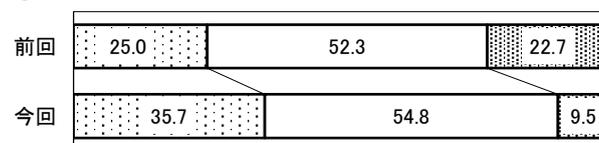
③金属製品



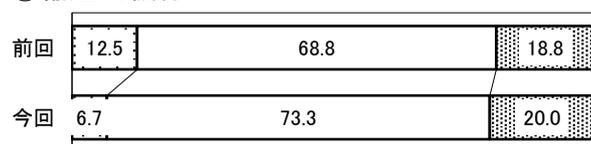
④一般機器



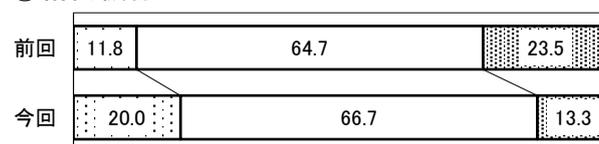
⑤電気機器



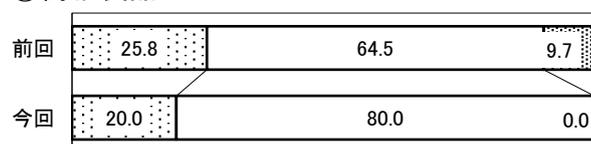
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期(10月~12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は14.9となり、前期調査時のD I 値10.7と比べ4.2ポイント上昇した。受注量の見通しは、「増加」とする回答の割合は減少したものの、それを上回わり「減少」とする回答の割合が大きく減少し、堅調に推移。

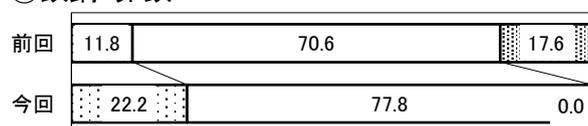
○業種別

- ・業種7分類中D I 値がプラスであったのは、電気機器(26.2)、一般機器(20.9)、樹脂製品(20.0)、金属製品(18.0)、精密機器(6.7)の5業種で、輸送用機器(▲13.3)、鉄鋼・非鉄(▲23.5)の2業種はマイナスであった。
- ・D I 値を前期と比較すると、電気機器で2.3から26.2(23.9ポイント)、精密機器で▲11.7から6.7(18.4ポイント)、樹脂製品16.1から20.0(3.9ポイント)、一般機器で20.3から20.9(0.6ポイント)と4業種で上昇。
- ・一方、金属製品で20.0から18.0(▲2.0ポイント)、輸送用機器で▲6.3から▲13.3(▲7.0ポイント)、鉄鋼・非鉄で▲11.8から▲23.5(▲11.7ポイント)と3業種で低下している。
- ・大きく「増加」、大きく「減少」した業種はなかった。

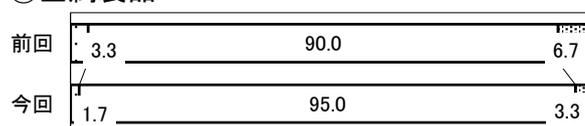
(3) 受注単価について



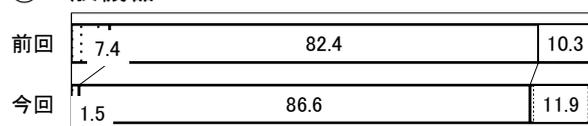
②鉄鋼・非鉄



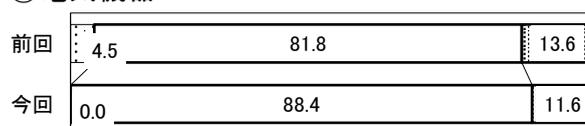
③金属製品



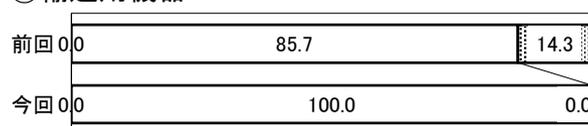
④一般機器



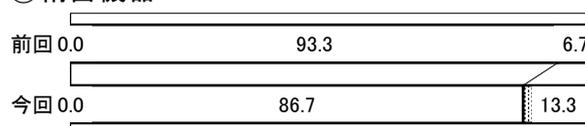
⑤電気機器



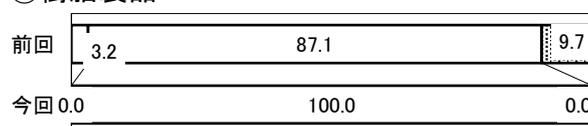
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲4.6となり、前期（4月～6月期）のDI値▲5.6と比べて1.0ポイント上昇し、若干の改善が見られた。「不変」とする回答が増加している。

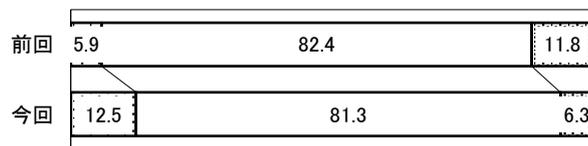
○業種別

- ・7業種中、DI値は、鉄鋼・非鉄（22.2）、樹脂製品（±0）、輸送用機器（±0）の3業種でプラスとなり、金属製品（▲1.6）、一般機器（▲10.4）、電気機器（▲11.6）、精密機器（▲13.3）の4業種でマイナスであった。樹脂製品、輸送用機器は、全て「不変」との回答。
- ・DI値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（28.0ポイント）、輸送用機器（14.3ポイント）、樹脂製品（6.5ポイント）、金属製品（1.8ポイント）の4業種で前期比プラス。電気機器（▲2.5ポイント）、精密機器（▲6.6ポイント）、一般機器（▲7.5ポイント）の3業種で前期比マイナスとなった。
- ・鉄鋼・非鉄でのみ「上昇」の回答が増加し、一般機器、精密機器で「低下」の回答が増加した。

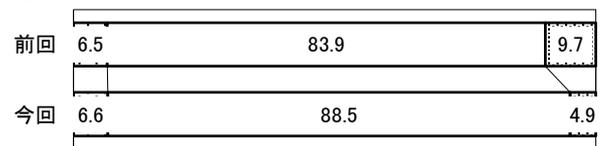
(4) 資金繰りについて



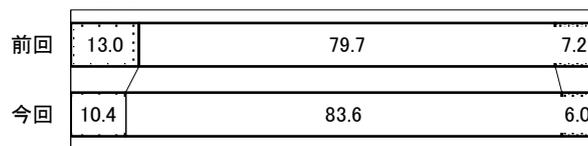
②鉄鋼・非鉄



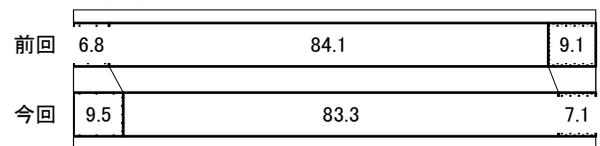
③金属製品



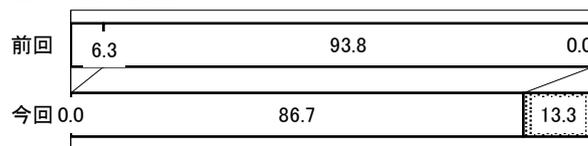
④一般機器



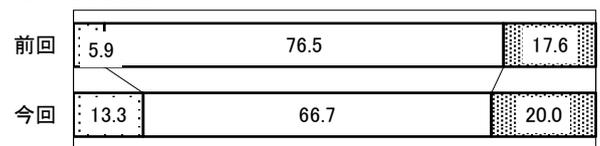
⑤電気機器



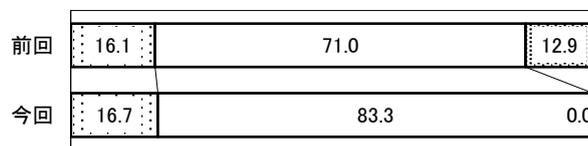
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は2.9となり、前期（4月～6月期）のD I ±0と比べて2.9ポイントの増加と、大きな変化は見られない。

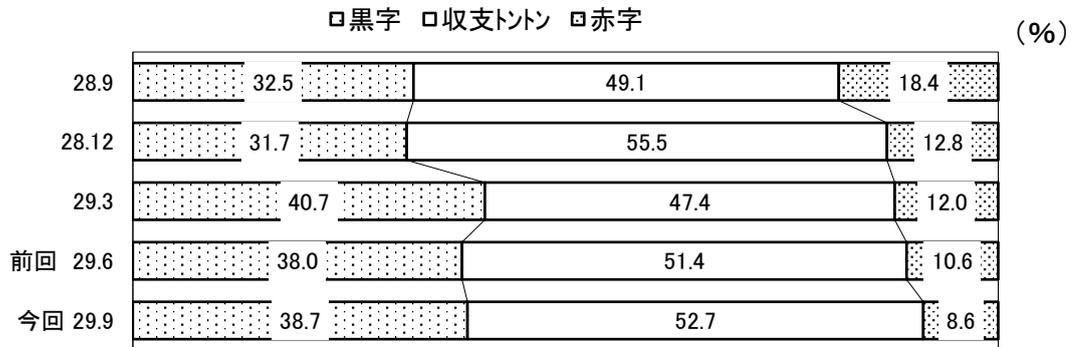
○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、樹脂製品（16.7）、鉄鋼・非鉄（6.2）、一般機器（4.4）、電気機器（2.4）、金属製品（1.7）の5業種。精密機器（▲6.7）、輸送用機器（▲13.3）の2業種でマイナスとなっている。

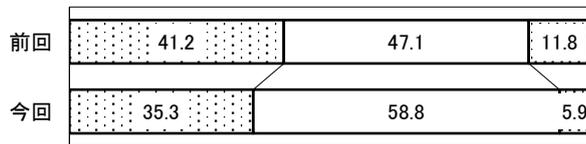
・D I値を前期と比較すると、樹脂製品（13.5ポイント）、鉄鋼・非鉄（12.1ポイント）、精密機器（5.0）、金属製品（4.9）、電気機器（4.7）の5業種で上昇しており、一般機器（▲1.4）、輸送用機器（▲19.6ポイント）の2業種が低下している。

(5) 採算状況について

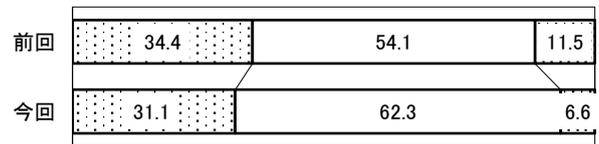
①全体



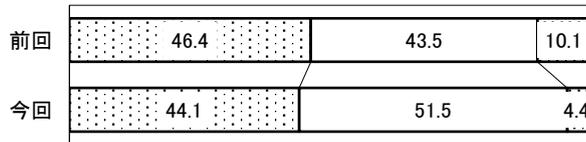
②鉄鋼・非鉄



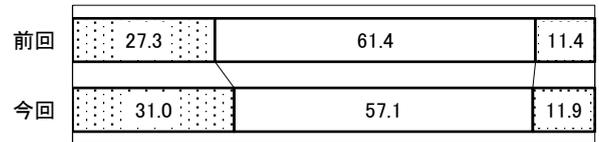
③金属製品



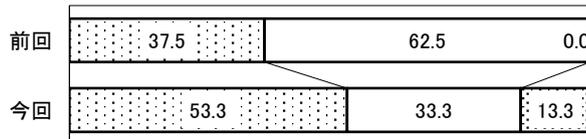
④一般機器



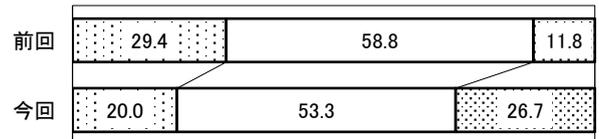
⑤電気機器



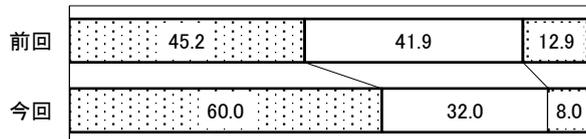
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



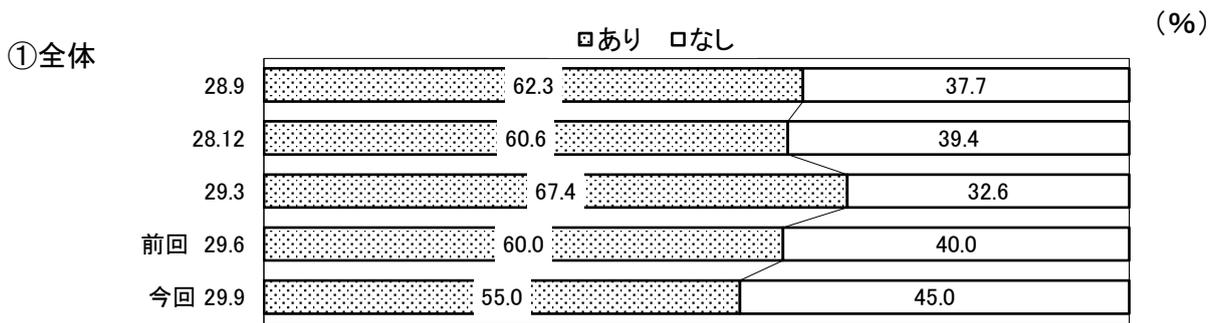
○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は30.1となり、前期（4月～6月期）のD I値27.4と比べ2.7ポイント上昇した。

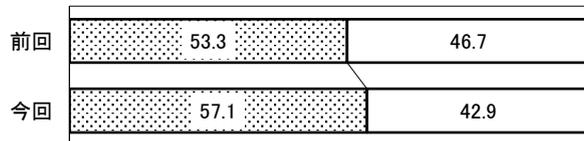
○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（52.0）、輸送用機器（40.0）、一般機器（39.7）、鉄鋼・非鉄（29.4）、金属製品（24.5）、電気機器（19.1）の6業種でプラスとなり、精密機器（▲6.7）のみマイナスとなった。
- ・前回に引き続き、全体的には、黒字企業（黒字+収支トントン）が増加した。
- ・D I値を前期と比較すると、樹脂製品（19.7ポイント）、一般機器（3.4ポイント）、電気機器（3.2ポイント）、輸送用機器（2.5ポイント）、金属製品（1.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（±0ポイント）の6業種で改善傾向が見られたが、精密機器（▲24.3ポイント）のみ前回に引き続き、悪化傾向となった。
- ・輸送用機器では、「赤字」企業が増加。
- ・精密機器では、「黒字」企業が大きく減少し、「赤字」企業が大きく増加している。

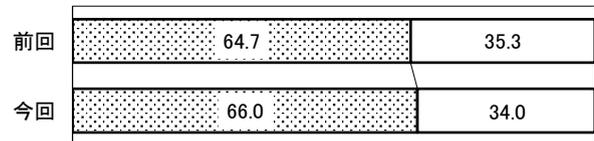
(6) 受注余力について



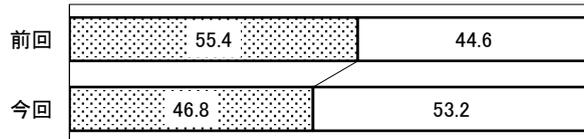
②鉄鋼・非鉄



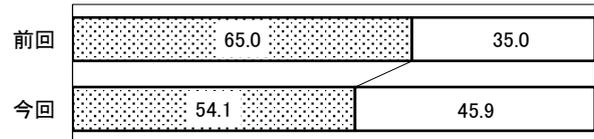
③金属製品



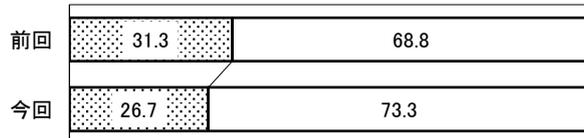
④一般機器



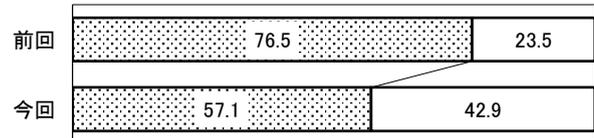
⑤電気機器



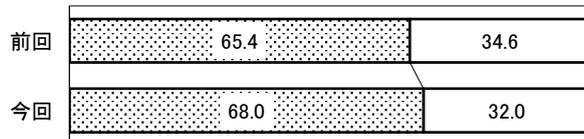
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断DⅠ（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は10.0となり、前期（4月～6月期）のDⅠ値20.0と比べ10.0ポイント下降した。（「受注余力なし」企業が増加した＝プラス傾向）

・7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が55.0%と、前期と比較して5.0ポイントの減少となり、直近では最も少ない。

○業種別

・業種7分類中DⅠ値がプラスであったのは、樹脂製品（36.0）、金属製品（32.0）、精密機器（14.2）、鉄鋼・非鉄（14.2）、電気機器（8.2）の5業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。一般機器（▲6.4）、輸送用機器（▲46.6）の2業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。

・DⅠ値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（7.6ポイント）、樹脂製品（5.2）、金属製品（2.6ポイント）の3業種は、前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。

・輸送用機器（▲9.1ポイント）、一般機器（▲17.2ポイント）、電気機器（▲21.8）、精密機器（▲38.8ポイント）の4業種は、前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp